

[TOP page](#)[資料室](#)[イベント情報](#)[講師を探す](#)[Worker's 広場](#)[関連リンク](#)

資料室


[HOME](#) | [資料室](#) | [一般教養](#) | [語り部スキル](#) | [批判者の質問と学習者の質問](#)
[労働組合](#)[労働者福祉・共済](#)[一般教養](#)[社会保障](#)[労使トラブル法律相談Q&A](#)[労働関係法](#)[経営全般](#)[人間関係とコミュニケーション](#)[ライフプラン](#)[男女共同参画](#)[公務員関係法](#)[日朝の歴史](#)[7つの習慣](#)[中東の歴史](#)[ボランティア活動](#)[環境活動](#)[社会貢献活動](#)[自己啓発](#)[生涯学習](#)[外交・防衛問題](#)[資本論](#)[教育カリキュラム](#)[日本国憲法](#)

批判者の質問と学習者の質問

新しい質問は、新しい未来をつくってくれます。

問題を解決する一番よい方法は、自分に前向きな質問をすること

フィードバック(意見)を否定と捉える人は、泥沼にはまります。
未来がひらける人は、フィードバックを価値あるものと考え、学びます。

自分自身や他人を批判する必要はありません。
すべてを受け入れ学びに変えましょう。

批判するのはもうやめましょう。
批判したところで何も変わりません。
自分に起こったことからなにかを学んで始めて、新しい道や可能性を見つけることができるのです。

批判する人の質問は周りを消極的にさせます。
一方、学ぶ人の質問は好奇心をかき立て、積極的に創造的な行動を生み出します。

これらの言葉はマリリー・G・アダムス氏によるものだ。
マリリー氏は、人は自分に問いかける質問次第で、「学ぶ人」にも「批判する人」にもなり、「学ぶ人」の状態のときに大きな効果を生み出せるとした。
批判者の質問は、変えられない過去に視点が向き、原因を追究し、相手を否定、裁断するネガティブなアプローチの質問が多い。

- ・何でこんなことが起きたのだろう？
- ・これは誰のせい？
- ・何でできないのか？
- ・本当に大丈夫か？

これに対し、学習者の質問は、変えられる未来に視点が向き、どうすれば解決できるのか、物事を肯定すると共に相手に、支援や協力を前提に質問をする。
こうした気持ちから出た質問は、人に力を与え、動かす力がある。

- ・次は何をしたらうまくいくだろう？
- ・どうすれば、正しい状態にできるか？
- ・何からはじめていこうか？
- ・何か困っていることはないか？

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録
お申し込みはこちらです。

>>一覧へ戻る

傾聴

語り部スキル

🔍 キーワード検索はこちら

🔍 サイトマップ 🔍 このサイトについて 🔍 個人情報保護の取組みについて

🔍 ページTOPへ

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's広場

関連リンク

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE 【ワーカーズ・ライブラリー】

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.